

令和8年度 HMS コンソーシアム参画研究者経費支援 公募概要

ヒト・モビリティ・ソサエティに関わるシミュレーション技術の高度化コンソーシアム

本コンソーシアムは、ヒト・モビリティ・ソサエティに関わる様々な社会課題を解決するため異なる分野の研究者が協力して新たな解決策や視点を創出できる方法論の提案・研究・実証等を行うことを主目的とする。また、そのための主要ツールとしてシミュレーション技術を据え、その高度化について議論・検討・検証する。以下、HMS コンソーシアムと称する。

【1. 目的】

「HMS コンソーシアム参画研究者経費支援」は、HMS コンソーシアムに参画する、もしくは今後参画する意志のある研究者に経費支援することで、コンソーシアム事業全体の活性化を図る。特に、参画企業のニーズと適合する全国の若手研究者への支援を強化して、コンソーシアム事業のクイックな推進を目指す。

【2. 申請要件等】

- ・大学に所属する研究者（学生を除く）で、以下 I～IIIのいずれかもしくは複数の分野の Keywords に関連する<自由提案型テーマ>であること。もしくは、「分野特定テーマ」のいずれかであること。「HMS コンソーシアムにおける過去の取り組み事例」は参照事例であり、HMS コンソーシアムの趣旨に沿っていれば新規性・有用性の高い研究を評価する。
<自由提案型テーマ>

I) ヒト分野

Keywords：AI，経路計画，強化学習，行動分析，ヒューマンエラー，安全性評価，シミュレータ活用，信頼感，安心感，アフォーダンス，受容性

II) モビリティ分野

Keywords：デジタルツイン，シミュレータ活用，新モビリティ，ADAS，V2X，環境影響評価，公共交通，CASE

III) ソサエティ分野

Keywords：都市計画，人流挙動予測，災害避難，MaaS，地域創成，まちづくり，費用便益分析，合意形成，市民参画

<分野特定テーマ>

- ・歩行者人流データ，地理空間情報の利活用
- ・生成 AI を活用した人の多様性表現の方法論
- ・PLATEAU 未整備地域のシミュレーション空間の作成方法

●HMS コンソーシアムにおける過去の取り組み事例

- ・マルチエージェント交通シミュレーションと交通安全性評価－現状と今後の課題
- ・感情状態およびドライバ特性ごとの二輪車ライダーのリスクテイク行動の分析
- ・歩行者エージェントモデルの構築に向けた MR 歩行者シミュレータの開発とシミュレータ実験データベース構築の提案

- ・マルチエージェント交通シミュレーションと複数台 DS 連携による高速道路合流に対する支援方策の有効性検証
- ・安心感の高い視認支援デバイスの設計方法
- ・電動キックボードのメタ認知運転教育の提案と効果検証
- ・マルチエージェント交通流シミュレーションと自動運転車を接続した仮想評価環境と高度化技法の研究
- ・マルチエージェント交通シミュレーションにおける交通参加者エージェントの統一的な経路計画アルゴリズムと実データからのパラメータ推定
- ・ドライブレコーダ映像とマルチエージェント交通シミュレーションとの連携技術の実現に向けて
- ・マルチエージェント交通シミュレーションにより生成される交通流の下での同一被験者による長期間にわたるシミュレータ走行データの取得と分析
- ・災害避難時における「車両乗り捨て」をもたらす要因分析
- ・マルチエージェント交通シミュレーションを用いた、メーカーの自動運転事故の法的リスク管理
- ・必要経費の支払は、支援年度 3 月末となる。採択から支払までの間、応募者は所属大学内にて、研究資金の立替等による予算確保が可能であるか確認のうえ応募すること。
- ・採択者の所属する機関は、支援年度 2 月末までに見積書・完了報告書・請求書（様式 5）を提出すること。
- ・被採択時に、速やかに「研究倫理及びコンプライアンス教育受講証明書」（様式 2）、「安全保障貿易管理への対応状況及び誓約書」（様式 3）を提出すること。
- ・被採択時に、被採択者が HMS コンソーシアム構成員でないとき、被採択者は速やかに HMS コンソーシアムへの参加手続を行うこと。

【3. 支援期間、支援額等】

- ・支援期間は単年度とする。ただし、HMS コンソーシアム活動期間においては、翌年度以降に同一テーマで継続して申請することを妨げない。
- ・1 件あたりの支援額は、100 万円を上限とする。ただし、令和 9 年度に継続を認められた場合には、追加で支援をおこなう場合がある。
- ・採択件数は数件程度とするが、応募状況により採択件数や額等を調整する場合がある。

【4. 選考方法】

- ・HMS コンソーシアム内に設置するステアリングコミッティにおいて、審査・選考を行う（令和 8 年 9 月末頃予定）。
- ・申請要件、基準等に該当しない場合は、取組内容が優れていても採択しない。
- ・公正な審査を行うため、審査基準および審査過程の詳細は公開しない。審査結果に関する問い合わせや異議申し立てには応じない。

【5. 計画書の申請】

- ・申請者は「令和 8 年度 HMS コンソーシアム参画研究者経費支援研究計画書」（様式 1）

【公募時期（予定）】

令和8年 8月～9月頃

※公募時期（案）は、今後の検討状況により、変更が生じる可能性がありますので、予めご了承ください。

【問合せ先】

香川大学 地域創生推進部 イノベーションデザイン研究推進課

E-mail: id-renraku-h@kagawa-u.ac.jp

【6. 採択された場合の活動概要の掲載や成果報告】

- ・「令和8年度 HMS コンソーシアム参画研究者経費支援成果報告書」（様式4）を令和9年2月末日までに作成し、HMS コンソーシアムに報告すること（提出先はイノベーションデザイン研究推進課）。
- ・HMS コンソーシアムの WG 開催時には、都度進捗報告をおこなうこと。
- ・HMS コンソーシアムに係る催し（シンポジウム、イベント等）にご協力いただく場合がある。
- ・本取組により、報道機関等に取り上げられた場合は、随時、その旨イノベーションデザイン研究推進課まで連絡すること。

（留意事項）

- ・本取組により論文を作成する場合は、当該論文に支援を受けたことを記載し、論文別刷を提出すること。
- ・上記6の掲載や報告を怠った場合は、採択を取り消すことがある。

（参考ホームページ）

香川大学：<https://kidi.kagawa-u.ac.jp/consortium/>

以 上